

## 第3章 健康づくりの基本方針

### 1. 健康づくりの理念と方針

子どもから高齢の方まで、ともに支え合いながら、希望や生きがいをもち、健やかでこころ豊かに暮らせるまちの実現を目指し、本市の現状や市民意向、指標の評価等を踏まえて、本計画の理念と目標達成のための施策方針を次のように定めます。

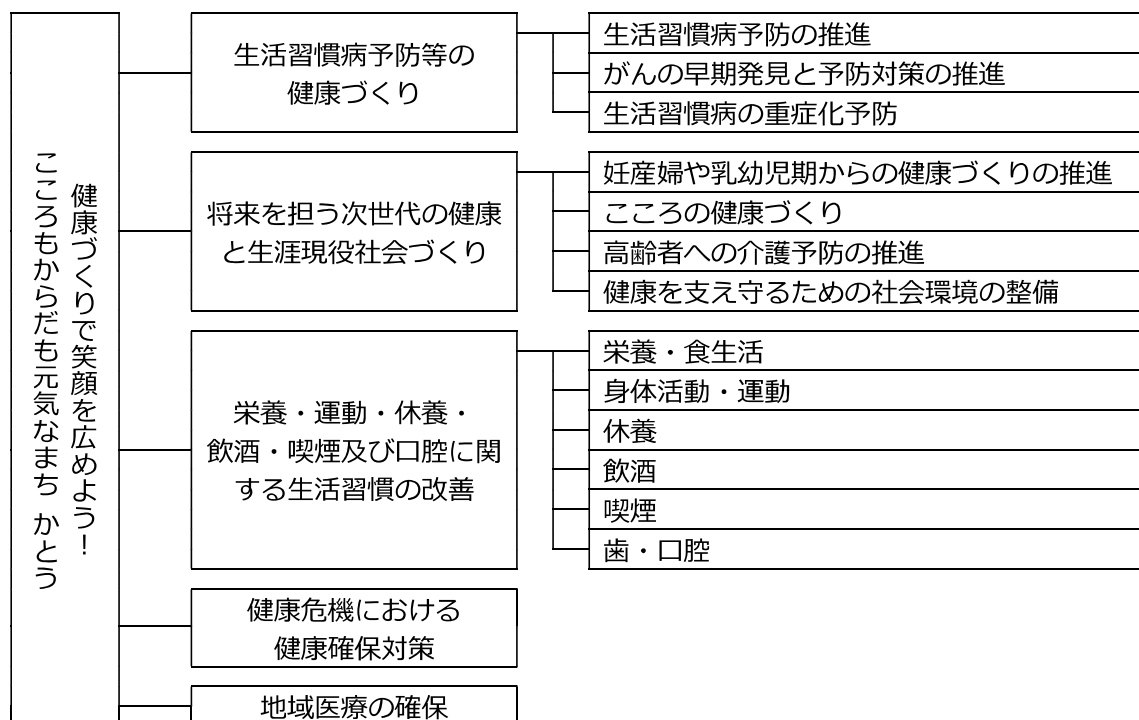
#### ■基本理念

健康づくりで笑顔を広めよう！こころもからだも元気なまち かとう

#### ■施策方針

- ・一人ひとりが主役、笑顔ですすめる健康づくり
- ・愛情たっぷり、こころつながる健康づくり
- ・健康でしあわせに暮らせる地域づくり

### 2. 健康づくりの施策体系

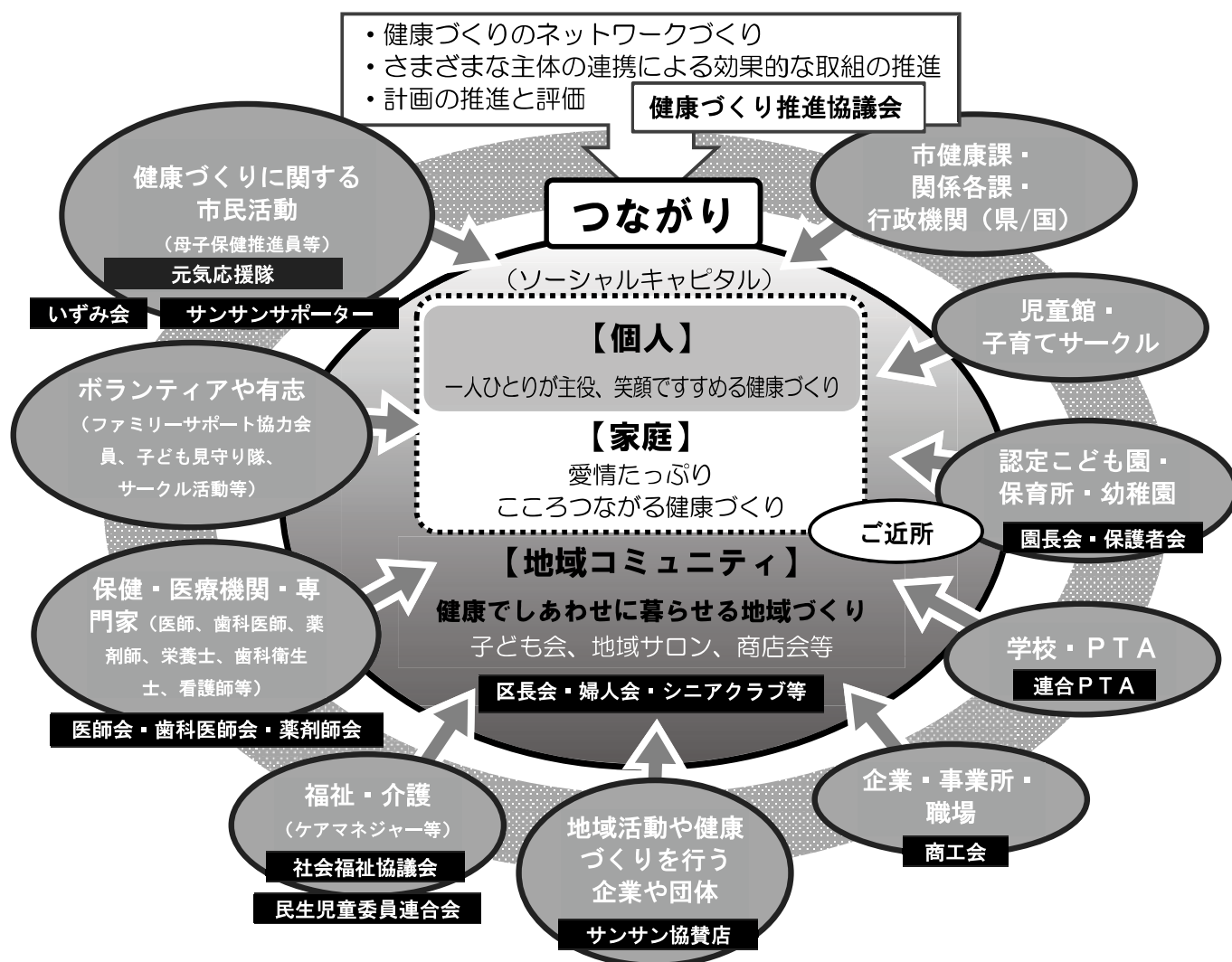


### 3. 計画の推進体制

健康づくりは、一人で実践し継続することが難しく、一人ひとりの努力はもとより、家庭や地域、行政や関係機関等の役割をバランスよく有効に機能させることが大切です。

国は、「健康日本 21（第2次）」の中で、国民一人ひとりが、社会参加し、家族や地域のつながりを深めたり、企業や民間団体等の多様な主体が健康づくりに取り組むソーシャルキャピタル<sup>※</sup>を活かした健康を支える環境整備の重要性を示しています。

本計画においても、市民同士の多様な主体による取組や交流、連携を進め、地域ぐるみの健康づくりを推進していきます。



※ソーシャルキャピタル：人と人とのつながり（信頼、ネットワーク等）を表すもの。つながりが深い地域に住んでいる人ほど健康度も高いとされ、健康づくりのためには、コミュニティづくりも併せて推進していくことが重要とされる。

#### 4. 計画の進行管理と評価

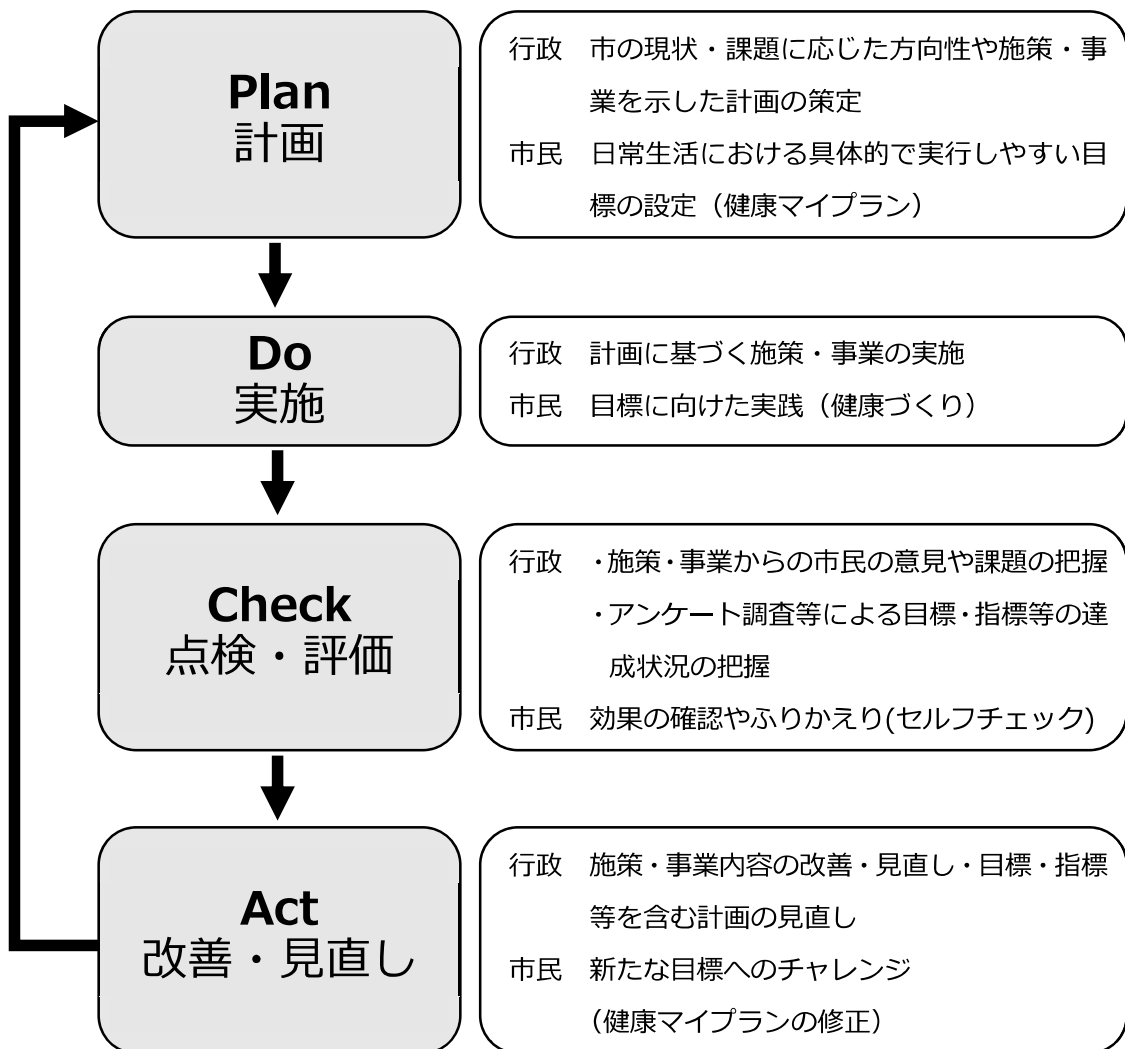
本計画においては、市民と行政の協働による進行管理、評価を行うことが重要です。

市民一人ひとりにおいては、良い生活習慣、健康行動を身につけるために、具体的で実行しやすい目標を設定し、継続して取り組むことが重要です。

また、行政においては、加東市健康づくり推進協議会における進捗管理に加え、保健事業による地域活動を通じ、意見や潜在化する課題を把握し、改善や見直しを行います。

このような、市民、行政それぞれの一連の循環型マネジメントサイクル【計画の立案（Plan）→ 実施（Do）→ 目標設定による適切な点検、評価（Check）→ 評価から抽出した課題の改善、見直し（Act）】の推進を図ります。

##### ■ 市民や行政によるP D C Aサイクルによる計画推進イメージ



行政：行政の取組  
市民：市民一人ひとりの取組